

第9回日本感染管理ネットワーク学術集会
共催セミナー (SS03)

視聴期間

2021年5月14日(金)～6月13日(日)

会場

ウェブ開催 (オンデマンド配信)

コロナ禍の中で考える 最適な血管アクセス

演者

ジョン・ベル 先生 (MSN, RN, VA-BC)

MSN : Master's of Science in Nursing
RN : Registered Nurse
VA-BC : Vascular Access Board Certification

Association for Vascular Access (AVA : 静脈血管アクセス学会)

講演概要

新型コロナウイルスのパンデミックにより医療施設では様々なチャレンジがあります。これまで実施してきた予防対策に更に注意を払い、ベッド管理を行いながら重症度の高い患者を受けいれています。輸液治療を要する患者が増えたということは、末梢静脈への穿刺回数が増えたということです。穿刺回数が多いほど合併症のリスクも高まり、患者は何度も穿刺されるため苦痛を伴います。また、処置にあたる医療スタッフの労働負担、血液・体液曝露リスクも考慮しなければなりません。PPEの整備、静脈穿刺が発生するたびににかかる材料コストも増加します。これらパンデミックによる変化は医療従事者に大きなストレスを与えているのです。従来末梢静脈カテーテル留置に失敗したら、当然のように入れ替えのため新たな穿刺をしていました。しかしコロナ禍の中にあり医療スタッフのストレス、医療システムへの過度な負担がかかっている今、我々は何が非効率であるかを認識し、効率化を図る必要があります。末梢静脈カテーテルの初回穿刺成功、最適な血管アクセス管理を目指していかなければならないのです。

参加方法

本セミナーを閲覧いただくには、**学術集会への参加登録が必要**となっております。
詳細は学術集会ホームページの「事前参加登録」をご確認ください。

事前参加登録期間：2021年3月15日(月)～5月21日(金) 17:00

※ウェブ展示会場にも是非お立ち寄りください。